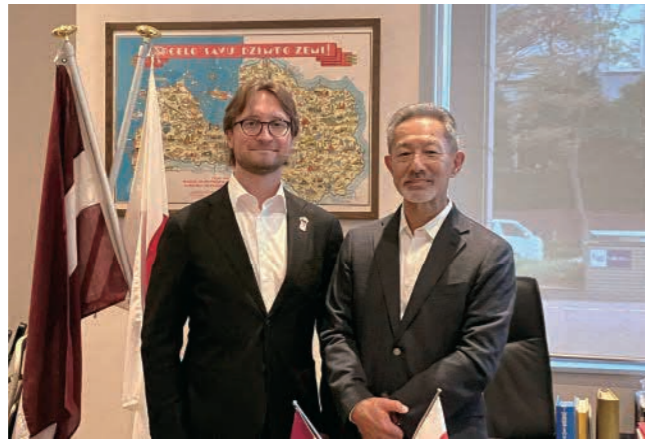


# JLSK NEWS

2024年度 関西日本ラトビア協会ニュース Vol.14



左:ズィルガルヴィス大使 右:石橋理事長

## 関西日本ラトビア協会の概要

所在地	大阪市北区梅田3-3-5 大和ハウス大阪ビル内
設立	2008年(平成20年)9月24日
会員数	個人会員 82名 法人会員 77社(2025年6月末現在)
事業内容	①ラトビア共和国の文化、スポーツ、経済等で日本との交流に関する情報を集め、会報・インターネット等を通じて発信する。 ②ラトビア共和国から来日する人達と交流し、活動を支援する。そしてラトビアからの留学生、または日本からラトビアへの留学生に対する奨学金等の支援を行う。 ③日本からラトビア共和国に観光その他の目的で訪問しようとする人達の企画を支援する。

## 役員

(2025年6月30日現在/敬称略)

名誉顧問	ズィグマールス・ズィルガルヴィス 駐日ラトビア共和国特命全権大使
顧問	多賀 敏行 元駐ラトビア日本国大使 東郷 武 前関西日本ラトビア協会会長・前在大阪ラトビア共和国名誉領事
理事長	石橋 民生 在大阪ラトビア共和国名誉領事・大和ハウス工業(株)特別顧問
常務理事	上野 慶三 Riga Wood Japan 代表 池田 裕子 元関西学院大学学院史編纂室 専任主管 溝口 明子 SUBARU 代表
理事	寺岡 志郎 大阪日本ボルトガル協会 谷本 瑞絵 ラトビア・ヘイズ 代表 竹村 肇 (公財)日本棋院 参与 太田 敏正 (株)プロアクティブ経営 社長 石橋 さゆみ (株)ユニフロー 社長、名誉領事夫人 大仁 公一 (株)伸和エージェンシー 社長 浅野 敏行 (株)アサノ 社長 平越 國和 (株)丸国林業 会長 上平 豊久 (株)大伸社 アドバイザー 清水 良二 清水木材(株) 社長 山本 拓 日本ノボパン工業(株) 社長 加藤 拓 (株)マーキュリアインベストメント ストラクチャード・エクイティ投資戦略最高責任者 鶴田 宜江 Cafe Laima 代表 堀口 大樹 京都大学 准教授 鈴木 広隆 神戸大学 教授 金井 雅孝 大和ハウス工業(株) 執行役員 秘書担当 甲斐 丈晴 大和ハウス工業(株) 総務部秘書室長 ※事務局局長兼務
監事	木村 宗光 大和ハウス工業(株) 元取締役 ※理事兼務 近久 啓太 大和ハウス工業(株) 東京本社総務人事部長 ※理事兼務



## INDEX

- 01 ラトビアとは
- 03 寄稿文のご紹介
- 05 特集：大阪・関西万博バルト館(事務局体験レポート)
- 07 特集：神戸市とリガ市の姉妹都市提携50周年
- 09 活動報告
- 25 会員一覧



発行：2025年9月

編集：関西日本ラトビア協会事務局

大阪市北区梅田3-3-5 大和ハウス大阪ビル

手つかずの自然と中世の面影が色濃く残る国

# Latvia

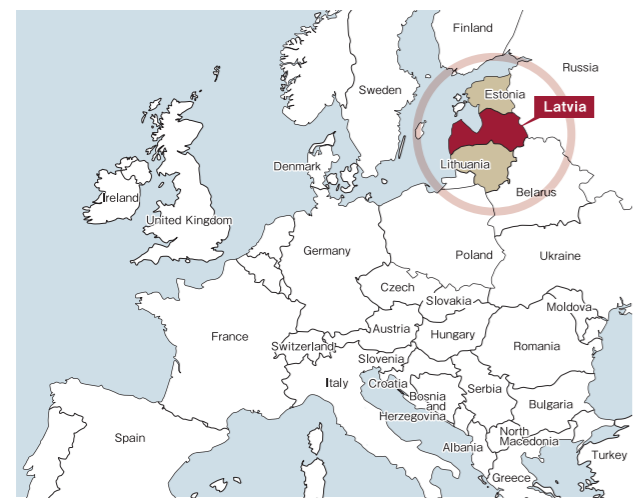
## ラトビア



### バルト海に面した自然豊かな国

ラトビア共和国は、「バルト三国」の中央に位置する北ヨーロッパの小さな国。北海道の約77%の面積に、およそ190万人の人々が暮らしています。ラトビアの風景の中で、まず印象に残るのは緑の多さ。国土の半分を森が占め、河川や湖が点在する自然豊かな土地に、稀少な動植物も生息しています。最高峰でも標高312mしかないため、少し高いところへ登ると、美しい大地がどこまでも広がっている光景に出会えます。

日本と同様に四季があり、新芽が芽吹く緑眩しい春、花の咲き誇る色鮮やかな夏、黄金色に輝く紅葉の秋、モノクロのコントラストが広がる白銀の冬と、変化に富んだ美しい季節がめぐります。



※地図は概略図であり、国名等も省略しています。

### まるで中世に迷い込んだかのような街並み Riga リガ

ラトビアの首都リガ市は、ダウガワ川沿いに教会の尖塔が立ち並ぶ美しいパノラマ風景が広がる情緒ある街です。旧市街全体が世界遺産に登録されており、ハンザ同盟時代から残る建築群や石畳が中世の雰囲気を今に伝えています。馬車の轍が残る細い路地や、時間をかけて丸くなった敷石からは歴史の積み重ねを感じることができます。

さらに、ラトビア人にとって花は生活の一部であり、頻りに花束を贈る習慣があります。旧市街は中世の面影を残すだけでなく、花や世界トップレベルのオペラやオーケストラなどの音楽が融合し、ラトビアの奥深い伝統文化が滲み出る独特の雰囲気を作り出しています。

リガはまた、1510年に市庁舎広場に立てられたモミの木に世界で初めて装飾が施されたことから、クリスマスツリー発祥の地とされています。11月下旬から1月上旬まで、大聖堂広場を中心にクリスマスマーケットが設営され、ホットワインを片手に買い物を楽しむ人々で賑わいます。



### History

- 1282年 リガがハンザ同盟に加盟
- 1583年 リヴォニア戦争の結果、リトアニア・ポーランド領となる
- 1629年 スウェーデン・ポーランド戦争の結果、一部分がスウェーデン領となる
- 1721年 北方戦争の結果、大部分がロシア領、残りはポーランド領となる
- 1795年 第3次ポーランド分割により全土がロシア領となる
- 1873年 第一回「歌の祭典」開催
- 1918年 11月18日 独立を宣言
- 1920年 8月11日 ロシア社会主義連邦ソビエト共和国との間に平和条約締結
- 1921年 1月26日 日本を含む、5か国により、法律上の国家承認
- 1940年 8月 5日 ソ連に編入
- 1974年 6月18日 兵庫県神戸市とリガ市 姉妹都市提携
- 1990年 5月 4日 独立回復宣言
- 1991年 9月 6日 ソ連の国家評議会においてバルト三国の独立を承認
- 2004年 3月29日 NATO加盟
- 5月 1日 EU加盟
- 2006年 4月 駐日ラトビア共和国大使館開設
- 2008年 5月 在大阪ラトビア共和国名誉領事館開設
- 7月17日 北海道東川町とルーイエナ町（現ヴァルミア郡）姉妹都市提携
- 2014年 1月 1日 ユーロ導入
- 2015年 上半期 EU議長国
- 2016年 7月 1日 OECD加盟
- 2024年 12月 在名古屋ラトビア共和国名誉領事館開設

※出典：外務省ホームページ <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/latvia/index.html>  
在ラトビア日本国大使館 [https://www.lv.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.lv.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)  
(2024年8月時点)

### 冬至祭 (Ziemassvētki / ズィエマススヴェートウキ)

緯度の高いラトビアでは夏と冬の日照時間が大きく異なり、古来より太陽の動きが生活に大きな影響を与えてきました。一年を立春、夏至などの8期に分け、その節目に祭祀を行い、農作業の目安にしてきました。なかでもラトビア人が大切にしているのが冬至祭 (Ziemassvētki / ズィエマススヴェートウキ)。

祭りの中心になるのはKekatas (チェカタス)という仮装行列です。動物の仮面をかぶった人々が、丸太を曳き、賑やかに音を鳴らしながら家々をまわり練り歩きます。かつては、チェカタスの一行は訪問した家々から邪悪なものを退け、各家庭が暗闇から打ち勝つように手助けをし、翌年の祝福を授けました。自然を信仰の対象としてきたラトビアの人々にとって、この日を境に日照時間が再び長くなり始める冬至の日は、光が闇に打ち勝つという意味合いを持つ日でもあったのです。



動物の仮面を被り練り歩く仮装行列 Kekatas (チェカタス)



丸太を焚火で燃やし、みんなで厄払いのダンスを踊る

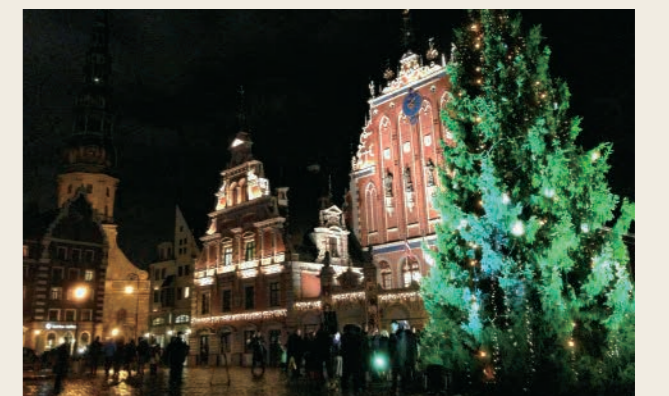


丸太を曳きながら歩き、今年の災厄を丸太に吸収させる

ズィエマススヴェートウキという単語は、直訳すると「冬祭り」になります。ラトビアの伝統的な冬至祭を表わす一方で、いわゆるクリスマスも意味しています。諸説ありますが、ラトビアはクリスマスツリー発祥の地といわれており、かつて冬至祭用の丸太を準備しようとしたところ、巨大なモミの木が手に入り、それに子どもたちが飾りつけをしたのがはじまりといわれています。

モミの木は市庁舎広場に移設され、祝祭ムードにふさわしいようにさらに飾り付けられました。この出来事がクリスマスツリーの起源だといわれている理由です。

クリスマスシーズンになるとリガのみならず、ラトビアの各所でクリスマスマーケットが始まります。ホットワインで温まりながらハンドクラフトやクリスマス用の食材のお買い物を存分に楽しみ、家族で和やかな時間をすごします。



市庁舎広場のブラックヘッド会館付近の様子  
発祥の地に立つツリーは毎年華やかなセレモニーとともに点灯される



リガ旧市街にある大聖堂広場のクリスマスマーケット



ご馳走をならべ、クリスマスパーティーが始まる

表紙写真: 夏の日のライ麦畑

Cover photo & photo & text by Akiko Mizoguchi



## ラトビアとの出会いから生まれた、 ご縁と使命

在名古屋ラトビア共和国名誉領事  
天野エンザイム株式会社 代表取締役社長  
天野 源之

関西日本ラトビア協会の皆さま、初めまして。2024年12月5日に在名古屋ラトビア共和国名誉領事館の名誉領事に就任いたしました、天野エンザイム株式会社 代表取締役社長の天野源之と申します。1956年に愛知県西春日井郡西春町（現北名古屋市）で生まれ、創業126年目の酵素メーカーの社長を務めています。

当社の歴史は、創業者である天野圓之助が1899年に家庭に常備する置き薬を通して人々の健康を守りたいとの思いから配置売薬業を行ったことが始まりです。1939年に中国へ進出し、日本からの一般薬の輸出版売により事業規模を拡大しましたが、第二次世界大戦の終戦により撤退し、その後1948年には今の前身となる「天野製薬」を設立、酵素製造を本格的に開始しました。日本の高度経済成長とグローバル競争の時代を経て、1996年には世界における存在価値の向上を目指して酵素事業への特化を行い、2000年に現在の「天野エンザイム」へと社名を変更しました。近年は食品と医薬分野を中心に海外売上比率約70%を占める企業として、日本をはじめ米国、英国、中国、タイの5カ国に拠点を設け、事業を展開しています。

酵素と聞くと馴染みが薄く感じられるかもしれませんが、実は皆さまの身近なところで活躍しています。例えば食品分野では、コンビニエンスストアで販売される多くの加工食品の製造過程で酵素が関わっています。医薬分野では、飲みすぎ食べすぎのときに服用する胃腸薬や、血糖値測定に用いる診断薬の原料として使用されています。また酵素を活用することで、廃棄物削減や省エネルギーなどが可能となり、カーボンニュートラルに向けた循環型社会の実現や食料問題といった社会課題の解決に貢献できると認識しています。

今回、私が名誉領事に就任した経緯は、名古屋の経営者の方からご紹介をいただいたことによります。駐日ラトビア共和国特命全権大使のズィグマルス・ズィルガルヴィス大使が2年前に弊社を来訪され、ラトビアの政治・経済・文化等につ



天野名誉領事とご夫人

いて幅広くご説明をしていただき、また私自身も書籍等を通じて学び、理解を深めてまいりました。

2024年7月には、リガで開催された世界の名誉領事が集まる会議に、妻と共に出席させていただきました。4日間の滞在中には、各種会議やビジネスマッチングの他、郊外へのエクスカーションなどに参加し、大変貴重な機会を得ることができました。実際に現地を訪れることで、ラトビアが置かれている現在の厳しい国際情勢においても、民主主義や資本主義、人権、法の支配を堅持し、独立自尊の気概にあふれる国民の強い意志に深く感銘を受け、さらには世界遺産であるリガの旧市街の美しさや豊かな自然にも魅了されました。



私の使命は、愛知県を中心とした東海地域において、ラトビアの魅力を広く紹介し、当地の企業との架け橋となることで、両国の経済発展に貢献することです。2025年5月19日には、ラトビア共和国のエドガルス・リンケービッチ大統領が大阪・関西万博への参加に先立ち、天皇陛下への拝謁や石破茂総理大臣との会談が行われ、両国関係が戦略的パートナー

シップへと格上げされる歴史的な節目となりました。このような機運が高まる中、両国の友好関係のさらなる発展に微力ではございますが貢献してまいりたいと存じます。関西日本ラトビア協会の皆さまとの交流を通じて、文化的・経済的な結びつきがより一層深まることを心より願っています。今後ともご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



レセプションにて駐日ラトビア共和国 特命全権大使のズィグマルス・ズィルガルヴィス大使と



開設された在名古屋ラトビア共和国名誉領事館にて

## 行ってきました！大阪・関西万博バルト館 (事務局体験レポート)

関西日本ラトビア協会事務局  
光山 敬史



バルト館公式アンバサダーのバラビちゃん  
大阪・関西万博公式キャラクターのミャクミャク

2025年4月13日、大阪・関西万博が開幕しました。ラトビア共和国は隣国リトアニア共和国とともに「バルト館」として大阪・関西万博に参加しています。関西日本ラトビア協会事務局としては、ぜひバルト館を見に行きたいと思っていたため、事務局長の甲斐理事と事務局スタッフの光山で4月22日の午後バルト館に訪問してまいりました。実は4月5日に開催されたテストラン(大阪・関西万博プレオープン)にも行ってきましたが、その際バルト館はオープンしておらず、待ちに待った訪問となりました。

バルト館は万博協会が建設した建物の一室に入居する「タイプB」方式で出展しており、隣はEUとアルジェリアとなっています(実はこの建物は事務局会社の大和ハウス工業のグループ会社である大和リースが建設しております)。

バルト館に近づくと、すでに入り口に列ができており、人気があるパビリオンだと感じました。外観にはバルト館のテーマである「WE ARE ONE」が掲げられて非常にスタイリッシュな装飾となっていました。そしてその装飾には「持続可能性」「共創」などさまざまなメッセージが映像で表示されていました。

いよいよパビリオンの中に入ることができましたが、まずバラビちゃんやミャクミャクがお出迎えしてくれました。バラビちゃんはバルト館の公式マスコットでポルチーニ茸がモチーフとなっています。先へ進むと壁一面にハーブが展示され、そのハーブについてスタッフが流暢な日本語で解説されていました。また、ラトビア・リトアニアの文化や風土についての解説ボードやデジタルサイネージが多数ありました。普段日本ではラトビアを体感できる機会は多くありませんが、これにより来場者はラトビアについて身近に感じていただけるのではないかと思います。



バルト館のテーマである「WE ARE ONE」  
そしてその装飾には「持続可能性」「共創」が表示されています

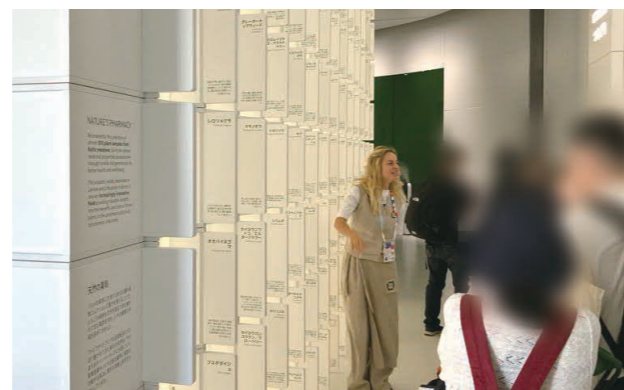
そして、パビリオンの奥には緑の巨大ボード・通称「KIZUNAの壁」があり、こちらは壁に結露を発生させることにより、来場者が自由に文字や絵を描くことができました。結露のため簡単に消すことができ、来場者の方々が気軽に思い思いのメッセージを記載されていました。

出口付近にはラトビアのハーブティーが売られている自動販売機がありました。

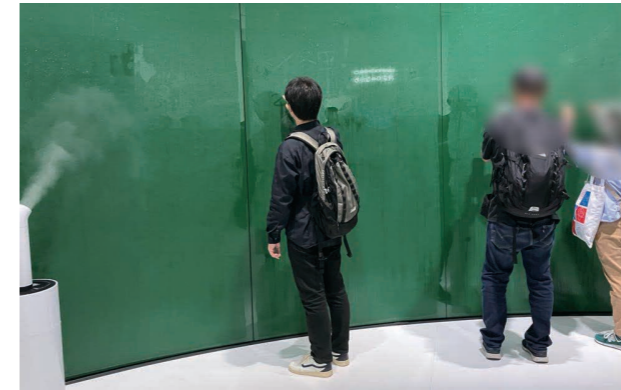
全体を通して、ラトビアの素晴らしさをすべてを表現することにはパビリオンの面積的にも時間的にも難しいところがあったのではないかと思います。来場者がラトビアを身近に体験でき、素晴らしさに気付いていただける良いきっかけになるパビリオンではないかなと思います。この大阪・関西万博を機に、一人でも「ラトビアファン」が増えると嬉しいなと感じました。



壁一面に展示されている、通称「天然の薬局」



バルト館のスタッフ



巨大ボードに来場者が自由に文字や絵を描くことができる、  
通称「KIZUNAの壁」



バルトパビリオン公式アンバサダー バラビちゃんも  
会場内にたくさん展示されています



バルト諸国をもっと知ることができる電子パネル



ラトビアのハーブティーが並ぶ  
自動販売機



バルト館のテーマである「WE ARE ONE」が掲げられた外観。様々なメッセージが映像で表示されています

## 2024年、神戸市とリガ市が姉妹都市提携50周年をむかえました

### ◆ 2024 6.3～5 神戸市のリガ市訪問団に参加

神戸市とリガ市の姉妹都市提携50周年を記念して、小原一徳副市長と堂下豊史副議長をリーダーに総勢30名を越える規模でリガ市に訪問しました。関西日本ラトビア協会からは上野常務理事、溝口常務理事、金井理事が参加しました。

6月3日にリガ市のキルスィス市長とオゾラ副市長への表敬訪問および姉妹都市提携50周年写真展の開会式、6月4日

にラトビア企業への訪問とリガ市主催の歓迎レセプション、6月5日にはリガ工科大学への訪問と高瀬大使公邸での在ラトビア日本国大使主催のレセプションと、様々な訪問とイベントに参加させていただき、多くの学びや発見があったとともに、とても楽しいひと時を過ごしました。



小原副市長(左)とキルスィス市長(右) 写真左 堂下副議長

写真右 高瀬大使

### ◆ 2024 10.26～2025 3.31 『「リガ・神戸」姉妹都市50周年特別展』開催

神戸市立王子動物園で『「リガ・神戸」姉妹都市50周年特別展』が2025年3月31日まで開催され、当協会も展示に協力しました。

リガと神戸の動物交流を軸にした両市の歩みが丁寧に展示されていました。アジアゾウのズゼちゃんがリガを旅立つ際に一緒に届いたズゼへの手紙やぬいぐるみなど、貴重な品々も展示されていました。

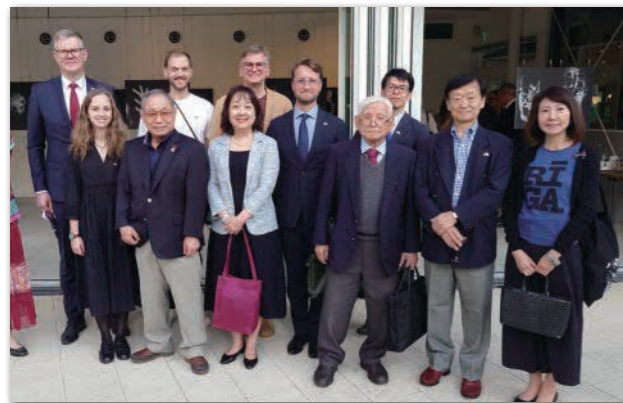
また同じリガから来たシベリアオオヤマネコの「アル」「ベル」についても展示されていました。



### ◆ 2024 11.6 リガ市の神戸市訪問を歓迎

神戸市とリガ市の姉妹都市提携50周年を記念してリガ市長一行が来日し、ズィルガルヴィス大使も出席したオープニングの写真展に当協会からは東郷顧問、上野常務理事、池田常務理事、溝口常務理事、木村監事が参加しました。

また、同日開催された神戸市主催のレセプションにも参加しました。



オープニングの写真展にて



### ◆ 2024 11.7 「リガ代表团関西訪問祝賀レセプション」開催

リガ市代表団の関西訪問を記念し、ザ・リッツ・カールトン大阪において駐日ラトビア共和国大使館と当協会との共催で、「リガ代表团関西訪問祝賀レセプション」を開催しました。

リラックスした雰囲気の中、交流・懇親を深めながら情報交換がなされました。来賓として、政府代表／特命全権大使(関西担当)の姫野大使にもお越しいただきました。



キルスィス市長



石橋理事長



ズィルガルヴィス大使



姫野大使



2024 4.29

◆ ウズヴァラス公園でのお花見

上野常務理事がウズヴァラス公園でのお花見を主催され、相互留学生、在留邦人、今西貴夫一等書記官はじめ大使館の皆さん、日本語学校の皆さん、ラトビアフィニアリスの皆さんなど、多くの方が集まりました。

ラトビアで最も有名な日本人歌手のMasakiさんが即席で行われた桜の下のラトビアソングライブがウズヴァラス公園を魅了するなど、とても楽しい時間を過ごされました。



2024 5.17

◆ トークサロン開催

在ラトビア日本国大使館の今西貴夫一等書記官をスピーカーとしてお迎えし、今西さんのこれまでの経験と、ラトビアを中心とする諸外国との関わりをお話いただきました。

非常に興味深く、また随所にユーモアを交えながらのご講演で、参加者全員お話に引き込まれた1時間でした。

その後、今西さんにも残っていただき、会員との交流会が賑やかに開催されました。



2024 5.21

◆ 神戸龍谷高等学校の生徒さんと事前学習

リガ文化学校との交流活動のため、ラトビアへ渡航する神戸龍谷高等学校の生徒さんと事前学習を行いました。

お二人ともそれぞれ学習テーマを持って現地で過ごされ、6月4、5日のラトビアでのレセプション(P07「神戸市のリガ市訪問団に参加」参照)に参加されました。加えて、帰国後は11月6日の神戸市主催のレセプション(P07「リガ市の神戸市訪問を歓迎」参照)にも参加され、11月20日に研修成果のご報告に来ていただきました。(P21「リガ文化学校と神戸龍谷高等学校の生徒と先生が名誉領事館訪問」参照)



2024 7.1

◆ 鶴田宜江理事のカフェ「cafe Laima」オープン

当協会の鶴田理事が愛知県安城市にラトビアカフェ「cafe Laima」をオープンされました。石橋理事長をはじめ、協会のメンバーも訪問されているとのこと。まだ訪問されていない方は、ラトビアを感じにぜひ「cafe Laima」へお越しください。



2024 7.1~3

◆ 名誉領事会合に参加

2年に1度各国のラトビアの名誉領事が一堂に会する名誉領事会合がリガにて開催されました。石橋理事長(在大阪ラトビア共和国名誉領事)と名古屋で開設予定である名誉領事館の名誉領事に就任予定(当時)の天野源之さんが参加されました。

また現地ではリンケービッチ大統領をはじめ、ミエリニャ国会議長、ヴァランティス経済副大臣、ズィルガルヴィス大使、高瀬大使など様々な方と交流し懇親を深められました。



2024 7.14

### ◆ 統計・DX次世代リーダー交流事業にてラトビアから6名が来日

統計情報研究開発センターと青少年国際交流推進センターが共催の「統計・DX次世代リーダー交流事業」にて、ラトビアから6名が招へいされ、7月2日～14日まで日本に滞在されました。

東京では河野デジタル大臣訪問、大阪では名誉領事館訪問歓迎式典や大和ハウス奈良研究所、NEC訪問などで

意見交換し、帰国前日には一人ひとり成果発表をして修了証を授与されました。当協会はこれらのカリキュラムに一部協力しました。

参加者は「今後は互いの国の利点を共有し、自身の仕事、更にはラトビア発展に精進する」と力強く語ってくれました。



2024 7.20

### ◆ 合唱団BALSISが第39回宝塚国際室内合唱コンクールで総合優勝

ラトビアの合唱団BALSIS(バルシス)が、7月20日に開催された第39回宝塚国際室内合唱コンクールで総合優勝しました。とても素晴らしい歌声が会場中を魅了していました。

翌日、21日はバルシスを含む上位入賞合唱団の特別公演が13時30分から開催されました。22～23日は京都、24日に東京に移動し、27～28日は第一生命ホール、29日は国立代々木競技場でコンサートが行われました。



2024 7.27

### ◆ 山崎志野さん、Ensemble Musicusとジョイントリサイタル開催

当協会の奨学生で、ラトビアで合唱指揮者として活躍されている山崎志野さんが、京都復活教会において合唱団 Ensemble Musicus(アンサンブル・ムジクス)と、「麦穂の祈り～バルト・東欧の光と影～」をテーマにジョイントリサイタルを行いました。



2024 8.2

### ◆ トークサロン開催：ラトビア留学活動報告

当協会の奨学生で、合唱指揮者の山崎志野さんをスピーカーとしてお迎えしました。

ラトビアへの留学の流れ、合唱指揮の学びと現地での暮らし等について、映像を交えながら丁寧にお話いただきました。

合唱が国民の暮らしに根付いている環境に飛び込み、プロとして頑張られていること、心より尊敬いたします。

その後、山崎さんにも残っていただき、会員との交流会が賑やかに開催されました。



2024 8.10

### ◆ 「ラトビア音楽の夕べ vol.2」開催

2023年に続き「ラトビア音楽の夕べ vol.2」がタワーホール船堀において開催され、合唱指揮者山崎志野さん、ラトビア音楽ユニットのウズマニープ、合唱団ガイスマ、そして本公演がデビューの合唱団クラーサスが出演されました。合唱団

クラーサスは、山崎志野さん指揮でラトビアの曲を歌うために結成された合唱団とのこと。皆さまの美しい歌声、音色、そしてラトビア音楽へ込められた想いに魅了されました。

満員御礼、大盛況の中での素晴らしいコンサートでした。



2024 9.4~18

### ◆ 「日本語学習者訪日研修」にイエカテナさんが参加

国際交流基金関西国際センターが実施している日本語学習者訪日研修に、当協会が招へいたイエカテナさんが参加されました。約2週間、日本語や日本の文化・芸術を学び、そして地元家族の下でホームビジットも体験されました。

また、上野常務理事、池田常務理事、竹村理事など当協会メンバーとも交流を深めていただき、名誉領事館にもご訪問いただきました。



2024 9.13

### ◆ 兵庫教育大学とラトビア大学の交流事業を支援

兵庫教育大学では、教育に係る国際交流活動の一環として、ラトビア大学と交流協定を2020年に締結しています。コロナ禍が落ち着いたことから、体験型交流としてそれぞれの学生をお互いの国に派遣し、教育事情を学ぶ活動を2024年9月からスタートされました。9月に兵庫教育大学の大学院生がラトビアに、2025年2月にはラトビア大学の学生が日本にそれぞれ派遣され、現地研修が行われました。(P18「兵庫教育大学の学生4名がラトビアで研修」、P24「トークサロン開催：兵庫教育大学、ラトビア大学研修報告」参照) 当協会は、この活動を支援すべく、事務局にて表敬訪問しました。

※2017年に兵庫教育大学の教授で協会会員でもありました堀内孜さんにトークサロンでラトビアの教育事情をお話いただいたこともあり、兵庫教育大学と当協会は堀内さんが繋いでいただいたご縁です。



2024 9.20

### ◆ 第16回理事会・総会・懇親会開催

#### 第16回 関西日本ラトビア協会 総会・懇親会

■ 日時：2024年9月20日（金）

■ 場所：ガーデンシティクラブ大阪「オリオン」

《式次第》

【総会】（16時00分 開会）

主催者挨拶 石橋 民生 理事長（在大阪ラトビア共和国名誉領事）

2023年度 事業報告・監査報告 事務局

2024年度 事業計画・活動計画 事務局

【講演会】 講 師 駐日ラトビア共和国 特命全権大使

ズィグマールス・ズィルガルヴィス様

演 題 『リガ市・神戸市姉妹都市提携50周年によせて』

【演奏会】 弦楽四重奏による演奏会（大阪交響楽団）

【懇親会】（17時10分 開宴）

ご挨拶 姫野 勉 様 政府代表／特命全権大使（関西担当）

乾 杯 溝口 明子 常務理事

中 締め 上野 慶三 常務理事



## 【講演会】

# リガ市・神戸市姉妹都市提携50周年によせて

講師

駐日ラトビア共和国 特命全権大使  
ズィグマールス・ズィルガルヴィス大使

### 〈略歴〉

2022年8月 駐日大使にご就任。2004年からラトビア共和国外務省に勤務、在アラブ首長国連邦 臨時代理大使 外務省 対外貿易・対外経済関係推進部長等を歴任されております。



## ラトビアと日本の関係深化

こんにちは。石橋さん、協会の皆さま、よろしくお願ひいたします。まず初めに、皆さまに申し上げます。たゆまぬ努力を続けていただきまして、ラトビアと日本の関係が常に深化してまいりました。本当に皆さまは私共にとって重要な友人であり、特にラトビア大使館にとっても重要な活動をしていただいています。

ご紹介いただきましたとおり、重要なトピックとして、リガと神戸の姉妹都市提携50周年を迎え、それだけではなく、2024年は他にもさまざまな重要なイベントがございまして、日本とラトビアにおいての交流が深まった年だと考えています。石橋さんや皆さまにご尽力いただきましたので、これ以外に2024年にはどういったことが起きたのか少し話したいと思います。

2024年2月、公式にラトビア外務大臣が訪日され、これが初めての政府関係者の公式訪問になります。この非常に重要なイベントである外務大臣の訪日に関しまして、石橋さんと協会メンバーの皆さまにランチの場を主催していただきました。素晴らしい機会を設けていただき御礼申し上げます。

3月にはバルト協力対話出席のため、外務次官が訪日し、4月にはNATO戦略的コミュニケーション所長が訪日され、同じく4月下旬にはリガ工科大学の学長の訪日もありました。

## 今後の交流とイベント予定

6月上旬はリガと神戸姉妹都市提携の50周年を祝う月となり、嬉しいことに神戸から代表団がリガを訪れてくださいました。その中には協会メンバーの上野さん、溝口さん、金井さんも入っていらっしゃいました。訪問には私自身は参加しませんが、訪問に関して準備は進めてまいりました。これはとても重要で貴重な機会でした。石橋さんから冒頭でお話がありましたように、もちろん文化的な交流は重要だけれども、これからはやはりラトビアと日本の間でのビジネス交流が重要であると考えています。今回の6月の訪問の間、代表団はICT関連のラトビア企業を訪ねる機会がありました。また、石橋さんよりすでにお話があったように、7月初めにリガで、2年に一度の名誉領事会議が行われ

ました。石橋さんにリガでもお会いできるのはとても喜ばしいことでした。会議では石橋さんが、「他の国の名誉領事は大使がいらいっしょらないからとても忙しいのに、私は大使がいるから忙しくない」と「ご不満」を述べられていましたので、我々で力を合わせて石橋さんをもっと忙しくするようにしていきたいと思っています。(笑)

9月から年末までは活動が増える時期になりそうです。と言いますのも11月に今度はリガから代表団が神戸を訪問し、姉妹都市50周年をお祝いします。神戸と大阪には11月5日から7日まで訪問する予定です。まだ詳細な計画は進行中ですが、ありがたいことに石橋さん、甲斐さんはじめ協会からのご支援がありまして、大使館とともにお祝いのために訪れる訪日団のレセプションが11月7日に開かれる予定です。

次のビッグイベントは、大和ハウス工業の特別協賛でウィーンフィルハーモニーの公演が11月に東京のサントリーホールで開催されます。今年は有名なラトビア人指揮者のアンドリス・ネルソンス氏が出演されます。

12月の始めの週には、ラトビア外務委員ライモンツ・ベルグマニス氏、ラトビア国会対日友好議員連盟会長(前・国防大臣)が訪日予定です。実は10月に予定されていましたが、皆さまご存じのように、日本国内での政治的な情勢により12月に延期されました。もう一つ12月に重要なことがあります。石橋さんがおっしゃったように、もう一人領事仲間が増えます。天野源之名誉領事です。名古屋にもう一つの名誉領事館がオープンすることが正式に決定しました。



名誉領事館に関する手続きはラトビアでは完了し、外務大臣もこれに関して調印しています。日本側での手続きも今後スムーズに進み、天野氏も名誉領事として承認されるだろうと考えています。岐阜県、愛知県、静岡県を担当することになっています。

## 大阪・関西万博と今後の展望

来年の話になりますが、2025年は大阪・関西万博が開催されます。ラトビアもパビリオンを出展します。理事会でもお話ししましたが、万博でラトビアはどのような活動をしていくのかというプレゼンテーションを、ディレクターのラースマ・リーダカ氏よりさせていただく機会を設けたいと思います。大阪・関西万博には、ラトビアの大統領がぜひ参加したいと考えていますので、おそらくエキスポナショナルデーである5月20日頃に訪日されるだろうと思います。来年は大阪・関西万博も含め私共の活動がさらに深まっていくだろうと考えています。

大統領や大統領以外の政府関係者等の訪日も計画されています。大使館としては経済交流の協力も重要だと考えていますので、同時に重要な人々と共にラトビアのビジネス関連の人々の訪問もあるだろうと考えています。

これまでのお話が、2024年の活動と2025年の活動予定ですが、11月にはリガから神戸に代表団が訪日しますので、この時に協会のご協力のもと、レセプションの開催があります。ぜひその機会を活用してラトビアのビジネス関連の人々と友達になっていただいたり、接点を持っていたり、そういう良い機会になっていただければ願っています。



## 【質疑応答】

**Q.** 色々な情報をありがとうございました。今年も来年も楽しみにしています。今日のテーマであるリガ・神戸市姉妹都市提携50周年によせて何かアイデアやコメントをいただけたらと思います。

**A.** 神戸で行われるラトビアデイズでは、私共が全面的に支援していかなければならないと思っています。同時にビジネスや事業交流を促進していく機会になればと思っています。ラトビアからはリガの市長やラトビア企業5社が参加しますので、ビジネスチャンスになればと思っています。加えて、神戸市による公式なレセプションや神戸市長の表敬訪問もあります。JETROによる円卓会議も開かれる予定です。写真展や音楽イベントもありますし、神戸の王子動物園にいる有名な象のズゼにも会いに行きたいです。もちろん私共の方からはレセプションに全面的に寄与していきたいと思っています。

皆さまは神戸や大阪だけでなく関西エリアの代表ということになるので、ぜひリガからやってきます代表団と顔を合わせていただいて友情を育んでいただいて、さまざまなコンタクトの窓口を作っていただきたいです。このプログラムの詳細は現在検討中ですので、決まりましたら甲斐さんを通じて皆さまにお知らせしていきます。最後のコメントになりますが、リガ市・神戸市姉妹都市提携50周年についてどう思うかというコメントに対して、10年ごとだけではなく、ずっとこの関係が続いてほしいというのが私の希望です。



## 【ご来賓 挨拶】

### 石橋理事長 挨拶



皆さまこんにちは。石橋でございます。7月に2年に一度の名誉領事の会議がありラトビアに行ってきました。私としては3回目の参加となりました。大統領や首相がスピーチされましたが、半分以上が「ウクライナの戦争」と「ラトビアは経済的に成長して戦争に対応できるようにしたい」というお話でした。日本では戦争開始から2年以上経過して報道等も減ってきていますが、ラトビアにとってはまだまだ大きな問題であると感じられました。

今回はそのような経緯から、「経済的に成長しないといけない」ということで、名誉領事とラトビアのビジネスとの商談会があり、私と

在名古屋ラトビア共和国名誉領事に就任予定の天野氏で参加しました。いろいろな方々がひっきりなしに来られて、ラトビアの方々の熱意を感じました。

日本は国防という点では関心が低いですが、日本という国を他国の目線から見ることによってそのような点も感じることができ、ラトビアからいろいろなことを学ぶことができると思います。

最後に、本日は会員の皆さまにも多数お集まりいただきありがとうございます。当協会としては皆さまのご協力やご支援をいただきながら運営をしています。今後も引き続き留学生の支援や、大阪・関西万博開催によって来日されるご要人との交流などを行いたいと思いますので、よろしくお願いたします。

### 姫野大使(政府代表／特命全権大使(関西担当)) 挨拶



このような会にお招きいただき、またお話をさせていただく機会をいただきありがとうございます。日本とラトビア、また関西とラトビアの関係が友好で益々強くなっていることを見るのが嬉しく思います。その上で簡単に3つのお話をさせていただきます。

まず1点目は、関西とラトビアの関係性について、この協会が果たしている役割は非常に重要です。また、神戸市とリガ市との関係においても、長い友好関係がありますがそれだけではなく実際的な活動が伴う関係であることが重要です。

2点目は、大阪・関西万博についてです。先ほどズィルガルヴィス大使から、大阪・関西万博開催期間中の5月20日のナショナルデー

には、大統領が来られるかもしれないというお話がありました。ナショナルデーに限らず、半年間の大阪・関西万博開催期間中にいろいろな面で日本・関西とラトビアの関係が強化されるだろうと思います。

3点目は、新しい在ラトビア日本国大使の吉田謙介氏についてご紹介いたします。彼と在ラトビア日本国大使館特命全権大使就任について話しましたが、30年前に1度ラトビアに行ったのですがとてもうれしかったと言っていました。また「ラトビア大使はうらやましい」と多数の知人から言われたそうです。そして、このような国際情勢の中で、ラトビアを取り巻く安全保障や経済環境も変わっているため、緊張感を持ってラトビアと日本のために任務を行いたいとのことでした。また吉田氏はモスクワやウラジオストクなどロシアでの勤務が長く、そのためロシアのことについてもたくさんの方々とお話をしたいと言っていました。

### 上野常務理事 挨拶



Riga Wood Japanの上野と申します。本日はズィルガルヴィス大使にお越いただき盛大に総会が開催できたことをうれしく思います。溝口常務理事からは「ラトビアに行けば行くほどラトビアを愛する気持ちが強くなる」とのお話がありましたが、本当にそのとおりで、私もこれまでラトビアには約80回行っていますが、そのたびに魅了されるという国ですので、ぜひラトビアに行かれたことが無い方はラトビアに来ていただきたいです。私はラトビアにすることが多いのでお世話をさせていただきます。

今、このような国際情勢の中、ラトビアの国民の皆さまはウクライナと一緒に戦っているという気持ちでいて支援もされています。例えば、ラトビアでは売上の1%をウクライナの支援金として寄付していますが、私の会社はラトビアの製品を日本に輸入していて、1年間で120

船(1週間で2コンテナ以上)が日本に向けて運行していますので、約2,000万円の寄付をしています。また、「ウクライナと一緒に戦っているという気持ち」とお伝えすると、「ラトビアはとても危険なのではないか」と誤認されることもありますが、国自体はとても平和を大切にしている、日本よりも治安も良いと感じていますので、何も心配せずにラトビアにお越しいただければと思います。

先ほどから大阪・関西万博についてのお話も出ていますが、前回の万博が開催された1970年は私が大学を卒業した年です。私の友人数名が万博で働いていたということもあり、ほぼ毎日万博に行き、日本の経済成長のイベントを目にして育ってきましたので、私自身万博に対する思い入れがとてもあります。今回、大阪・関西万博にラトビアがリトアニアと共同で出展されることをとてもうれしく思います。関西日本ラトビア協会の皆さまの力を集結して必ず成功に導きましょう。

2024 9.15~20

### ◆ 兵庫教育大学の学生4名がラトビアで研修

教育に係る国際交流活動の一環として、兵庫教育大学の大学院生の方々が、ラトビアにおいて9月15日から6日間の日程で研修をされました。

ラトビア大学で講義を受けられ、また公立学校(小中高一貫)を視察されるなど、教育事情について現地での声を聞いてこられました。

当研修の内容は、2025年2月20日のトークサロンで発表いただきました。(P24「トークサロン開催:兵庫教育大学、ラトビア大学研修報告」参照)



2024 9.22

### ◆ 「ウズマニープ」10周年記念コンサート開催

ラトビアに伝わる伝統音楽を演奏する日本初のユニットであるウズマニープが結成10周年を記念して、コンサート「春夏秋冬」を神戸市のダイヤ通音楽ホールで開催しました。雨模様の中でしたが、多くのファンが集まり、ここだけラトビアの優しい風が吹いてゆっくりと時間が流れているようでした。溝口さん、秦さん、10周年おめでとうございます。

※ウズマニープは当協会常務理事の溝口明子さん(クアクレ奏者)と秦進一さん(ヴァイオリン奏者)のご夫妻のユニットです。



2024 9.26/10.1/10.28

### ◆ 吉田謙介大使が特命全権大使の発令を受けられました

9月11日に在ラトビア日本国大使館の特命全権大使の発令を受けられました吉田謙介大使と、9月26日に石橋理事長と東京で、10月1日には協会理事有志の皆さまと大阪の

在大阪ラトビア共和国名誉領事館で、そして10月28日には上野常務理事と在ラトビア日本国大使館で、それぞれ懇親・交流を深めました。



2024 10.18

### ◆ 東大阪市の中学生が在大阪ラトビア共和国名誉領事館を訪問



東大阪市立意岐部(おきべ)中学校の生徒8名が、国際教育の授業として在大阪ラトビア共和国名誉領事館にお越しになり、前在ラトビア日本国大使館一等書記官の今西貴夫さんに講義を行っていただきました。

講義ではラトビアの歴史、文化そして現在の世界情勢への対応など多岐にわたってお話いただきました。

生徒さんからも「在ラトビア日本国大使館の仕事内容は何か」「ラトビアで盛んなスポーツは」などと質問が出るなど、普段とは違う内容の講義に対して興味深く今西さんのお話に聞き入っていました。

2024 10.30

### ◆ ラスマニスさんが名誉領事館を訪問

日本語弁論大会第二部 優勝者のヴィエストゥルス・ユリウス・ラスマニスさんが名誉領事館を訪問くださいました。弁論大会優勝者に贈られた日本とラトビアの往復航空券を利用したの来日、約1ヶ月にわたり日本を満喫されているとのことでした。

今回の訪問では、弁論大会でのテーマについての解説や、初来日の感想などを話していただき、協会メンバーと楽しく懇談しました。また、日本のお話がモチーフになっている「猫を描いている少年」というラトビア語の絵本をお土産にいただきました。(名誉領事館にて保管)

今回の来日をきっかけに、更に日本への関心を深めていただき、協会とも、引き続き積極的な関わりを持っていただければと思います。



2024 11.15

### ◆ ラトビア独立記念セレモニー開催

駐日ラトビア共和国大使館でラトビア独立記念セレモニーが開催されました。ズィルガルヴィス大使、日本ラトビア友好議員連盟中曾根弘文会長の挨拶と乾杯に始まり、お祝いに駆けつけた多くのラトビアファンが親睦を深めました。当協会からは石橋理事長ご夫妻、上野常務理事、池田常務理事、溝口常務

理事が参加し、神戸市堂下副議長・垣内国際部長・前在ラトビア日本国大使高瀬さんも参加されていました。さらに恒例の二次会には17名が参加しそれぞれラトビアの思いを語り合いました。



2024 11.17

### ◆ 富士市国際教育ネットワーク、富士市産業交流部の方々と情報交換

富士市の市民ボランティア「富士市国際教育ネットワーク」の山口さん他数名ならびに富士市産業交流部の石井さん、中田さんと情報交換を行いました。

富士市ではボーイスカウト事業や東京オリンピックのホストタウンをきっかけにラトビアとの交流を続けておられます。最近では、ラトビア クルディーガ市との交流を深められています。一時的な交流ではなく、長期にわたる協力関係を継続的に進めていきたいと力強く仰っておられました。富士市においてもラトビアとの交流が深まっていることを実感し良い時間を過ごしました。



2024 11.17

### ◆ 統計・DX次世代リーダー交流事業の報告書受領

7月に開催された統計・DX次世代リーダー交流事業報告書(P11「統計・DX次世代リーダー交流事業にてラトビアから6名が来日」参照)が完成し、上野常務理事と事務局が青少年国際交流推進センターを訪問して説明・報告を受けました。

来年からも継続してラトビアから招へいしていただけることでした。



2024 11.20

### ◆ リガ文化学校と神戸龍谷高等学校の生徒と先生が名誉領事館訪問

神戸龍谷高等学校に交換留学で日本に滞在されているリガ文化学校の生徒2名と先生2名、神戸龍谷高等学校の生徒1名と先生2名が名誉領事館に訪問されました。また溝口常務理事も皆さまのサポートとしてお越しく下さいました。

日本滞在はまだ3日目ですが、リガ市と比べて人が多いことに驚かれたようで、日本の建築物に興味を持ったことや、回転寿司でお寿司を食べたことなど色々なお話をしてくださいました。

まだおいしい日本食をもっと食べたいとおっしゃるなど、日本を楽しんでいただいているようでした。



2024 11.21~28

### ◆ ラトビア人指揮者 グンタさんご夫妻来日

2016年4月にリガ女声合唱団の大阪公演で指揮されていましたが、グンタ・マレーヴィツァさんご夫妻が来日されました。協会メンバーがアテンドしおもてなしをさせていただきました。



2024 12.5

### ◆ 在名古屋ラトビア共和国名誉領事館開設

名古屋市にラトビア名誉領事館が開設され、天野エンザイム株式会社代表取締役社長天野源之さんが在名古屋ラトビア共和国名誉領事に就任されました。そして同日に就任披露レセプションが開催され、石橋理事長が在大阪ラトビア共和国名誉領事として出席されました。

在名古屋ラトビア共和国名誉領事館が開設されたことにより、より日本とラトビアの関係が強化されることが期待されます。



2024 12.13

### ◆ ラトビア企業6社を歓迎するレセプション開催

駐日ラトビア共和国大使館において訪日中のラトビア国会議員団とビッグサイトで開催中の「Japan Build 東京 2024」展示会に出展したラトビア企業6社を歓迎するレセプションに石橋理事長が参加しました。



2025 1.14

### ◆ 大阪・関西万博バルト館のコンセプト公式発表会に参加

東京・八芳園にて、「大阪・関西万博バルト館のコンセプト公式発表会」が行われ、上野常務理事と谷本理事が参加されました。

バルト館のテーマである「WE ARE ONE」のプレゼンテーションや公式マスコット「バラビちゃん」のお披露目も行われ、万博本番が待ち遠しくなるような素晴らしい発表会でした。



◆ 加藤晴生さんメモリアル・コンサート開催

2023年12月6日にご逝去された、元日本ラトビア音楽協会専務理事の加藤晴生さんの追悼コンサートがタワーホール船堀で開催されました。加藤晴生さんは日本ラトビア音楽協会を設立され、また合唱団ガイスマの創設者の一人であり、長年にわたって日本とラトビアの交流に尽力されました。

コンサートでは稲門グリークラブ・シニア会、合唱団ガイスマが美声を響かせ、加藤さんに想いを馳せました。



◆ 第23回ラトビア日本語弁論大会

当協会が協賛している、第23回ラトビア日本語弁論大会が、2025年2月7日にラトビア大学図書館で開催され、ダニエルズさんが優勝されました。

今回、上野常務理事にオブザーバーとして参加していただき、副賞のラトビアと日本の往復航空券を上野常務理事から授与されました。



◆ トークサロン開催：兵庫教育大学、ラトビア大学研修報告

当協会の支援により、昨年9月にラトビア大学にてラトビアの教育を勉強された(P18「兵庫教育大学の学生4名がラトビアで研修」参照)兵庫教育大学大学院生 山岡さん、押見さん、村上さん、野村さんに「ラトビア研修報告」というテーマで、また現在来日されて兵庫教育大学で日本の教育を勉強されているラトビア大学の大学院生テンバガさん、ランバさん、シリニャさんに「来日後の記録」というテーマでお話いただきました。

また、兵庫教育大学の加治佐学長、菅井教授、ラトビア大学のダニエラ学部長、そして富士市国際教育ネットワークの山口さん、西山文恵さん、西山京子さんにもお越しいただきました。

お互いの国の教育事情の違いやラトビア・日本を訪れて感じたことなど、詳細にお話しいただき、参加者からは、ラトビアの教育手法やラトビアの学校にかかる費用についてなど、たくさんの質問がなされ、非常に有意義な場となりました。

その後、スピーカーの皆さまと会員との交流会が賑やかに開催されました。



関西日本ラトビア協会会員

法人会員 50音順(2025年6月30日現在)

株式会社アサノ	サンスター技研株式会社	株式会社南都銀行
朝日ウッドテック株式会社	サントリーコーポレートビジネス株式会社	日鉄鋼板株式会社
株式会社朝日押捻子製作所	サントリービバレッジソリューション株式会社	日鉄建材株式会社
株式会社あさひや	サン美術印刷株式会社	日鉄物産株式会社
株式会社石川製作所	清水木材株式会社	日本製鉄株式会社
株式会社イシモク・コーポレーション	昇信化成株式会社	日本アーツ株式会社
株式会社伊藤園	新宮エネルギー株式会社	日本ノボパン工業株式会社
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	株式会社申明	ニホンフラッシュ株式会社
稲畑産業株式会社	株式会社伸和エージェンシー	株式会社ノザワ
因幡電機産業株式会社	スターネット株式会社	富士通株式会社
株式会社岩崎貞三商店	セコム株式会社	フルサト工業株式会社
株式会社インターネットイニシアティブ	株式会社ゼンリン	文化シャッター株式会社
SMB建材株式会社	総合警備保障株式会社	松本林業株式会社
SCSK株式会社	損害保険ジャパン株式会社	株式会社丸加商店
SCSKサービスウェア株式会社	ダイキン工業株式会社	株式会社丸国林業
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	株式会社大伸社	丸紅木材株式会社
エフサステクノロジーズ株式会社	ダイドードリンコ株式会社	株式会社マルホン
応用技術株式会社	大日鋼業株式会社	株式会社みずほ銀行
大阪ガス株式会社	大和ハウス工業株式会社	みずほ信託銀行株式会社
株式会社大塚商会	大和物流株式会社	株式会社三井住友銀行
河村電器産業株式会社	大和リース株式会社	株式会社メディアテック
株式会社キョーライト	タカラスタンダード株式会社	株式会社ユニフロー
クマリフト株式会社	チヨダウーテ株式会社	株式会社LIXIL
株式会社構造計画研究所	ツカ・カナモノ株式会社	株式会社RYODEN
三京化成株式会社	株式会社デザインアーク	渡辺パイプ株式会社
株式会社山水	株式会社東芝	

個人会員


50音順敬称略(2025年6月30日現在)

穂山 和生	大橋 正孝	長塚 徹	堀内 知子
東 美紗都	岡 美文	永見 義広	間崎 泰光
安達 和彦	河端 健司	夏目 剛	益田 信行
阿部 文彦	木下 武幸	西崎 明美	松田 咲希
荒木 美眞	小巖 仰	西野 勝弘	丸山 竜誠
アリナ・アシェチュプロワ	権藤 眞禎	橋田 亨	三木 保人
池田 政雄	阪上 義昭	橋本 大樹	水谷 隆之
石原 美生子	正司 泰一郎	濱田 賢時	宮本 航平
伊藤 茂男	鈴木 亜衣	早川 明弘	宮本 菜穂
伊藤 正男	竹内 大樹	平田 大	物部 健依
今城 孝司	立岡 弘	福井 美佐	桃井 猛
今西 貴夫	田中 伸一	藤原 和之	森本 健太郎
岩井 香代子	田中 悠樹	藤原 秀之	安田 敏男
岩井 二郎	津田 恵美	古川 一郎	安田 勝
植田 多江子	東郷 久野	古川 岩夫	山崎 志野
上野 龍平	轟木 裕子	古田 晴彦	山原 一晃
宇陀 性現	中井 敦子	古海 賢二	山村 有佳里
榎本 勤	中島 文子	堀田 健二	

ラトビアTOPICS

**BOOK** 10の国旗の下で 満洲に生きたラトビア人  
 エドガルス・カッタイス=著 / 黒沢 歩=訳

ラトビアにおける日本語教育のパイオニアとして、また日本文学の翻訳家・通訳士として活躍したカッタイス氏が、満洲で生まれ育った若き日の人生が綴られた回想録。激変する時世のなかでしなやかに生きたカッタイス氏の人生から学ぶことは多く、また、氏のような立場から俯瞰して眺めた激動の時代の記録は、貴重な歴史書といえる。



**ラトビア出身監督作の話題映画**

ラトビア出身のクリエイター、ギンツ・ジルパロディス監督の映画『Flow』が、2024年カンヌ国際映画祭にて4冠を受賞。また、ラトビア初のアカデミー賞、長編アニメーション賞受賞の快挙を果たした。本編で描かれるのは、洪水に吞まれつつある世界を舞台に、時には運命に抗い、時には流され漂う一匹の猫と、道中を共にするさまざまな動物たちを見つめる、圧巻の映像体験。旅をする動物たちが各々の魅力を全開に、成長しながら旅をしていく様にも注目したい。

編集後記

2024年はリガ市と神戸市の姉妹都市提携50周年という記念すべき年で、神戸からリガへ、リガから神戸へと例年以上に交流が活発であったと感じています。当協会としても駐日ラトビア共和国大使館との共催で祝賀レセプションを開催させていただきましたが、素晴らしい雰囲気の中懇親を深めることができました。

また、12月には名古屋ラトビア共和国名誉領事館が開設され、日本とラトビアの交流の基盤がさらに強固なものになると思われます。そしてさらに2025年は大阪・関西万博により、ラトビアがさらに日本にとって身近な存在となりつつあるため、当協会におきましても両国の架け橋となるべく活動をしてきたいと考えておりますので、引き続きご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

末筆になりますが、当会報誌制作にあたり、ご寄稿をいただきました天野様、制作にご尽力いただきました溝口常務理事に御礼を申し上げます。  
 (事務局 光山)